

行事報告書(研修)

報告者: 大原 徹

行事名	自然観察会(服部緑地公園・野鳥観察)
実施日時	2024年 1月 11日(木曜日) 10:00 ~ 14:00 天候:晴
場所	服部緑地公園
テーマ	冬鳥との出会いを楽しむ
講師	全体リーダー 森永啓司さん、仲谷貞夫さん
参加人員	20名
研修内容	<p>1) 観察コース 公園東中央広場(集合)～うづわ池～かやぶき民家集落～ちかくの森～西中央広場(昼食)～山ヶ池～白鳥橋～公園東中央広場(鳥合わせ・解散)</p> <p>2) 観察概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のスタート直後こそ底冷えのする寒さがあつたが、快晴のお天気に恵まれ、日中は冬とは思えない暖かさとなり、絶好の観察日和となった。</li> <li>・さっそく水鳥たちとの出会いを楽しみ、ミコアイサをはじめキンクロハジロ・ホシハジロ・マガモなどの冬鳥のほか、カイツブリやカワウなどの留鳥も観察することができた。</li> <li>・岸辺の藪や道を挟んだ木立ちには、ヒヨドリ・ウグイス・メジロ・シジュウカラ・ヤマガラ・アオジ・カワラヒワなどの野鳥たちが思い思いに樹々を飛び移る姿が観察できた。</li> <li>・かやぶき民家集落の前を通って、ちかくの森に入ってゆくと湿地のある茂みに餌場がしつらえてあり、静かにカメラを向けて探鳥を楽しむバードウォッチャーさんの姿があつた。ここではルリビタキやシロハラ・ハクセキレイ・ジョウビタキなどの野鳥をゆっくり観察できた。</li> <li>・西中央広場で昼食。うららかな陽を浴びて一列に並んだスズメが私たちを見送ってくれた。</li> <li>・山ヶ池に着くと、枯れた冬の蓮の中にオカヨシガモ・ヨシガモ・オナガガモ・ヒドリガモなどを観察することができた。クチバシが白く水かきを持つオオバンは冬鳥で、クチバシが黄色く水かきを持たないバンは留鳥であることを学ぶことができた。また高い松の木に優雅に止まるダイサギの姿や何かを見つめているアオサギ、遠くにはゴイサギの姿も観察できた。また諦めかけていたカワセミも最後に観察することができた。</li> <li>・白鳥橋では、のどかに泳ぐつがいの水鳥を楽しむことができた。ヌートリアも姿を現したが、近づくだけで逃げてゆく水鳥たちの日常が間近に見られた。ヌートリアは有害獣とのことで餌やり禁止の看板もあり、少し可哀そうな気もしないではなかった。</li> <li>・梅林では赤く膨らんだ梅の蕾に春近しの季節を感じながら、ゴールの東中央公園に到着。全員集合して鳥合わせを行い、今回38種の野鳥が観察できたことを確認して解散。～暖かな陽射しのもと、ゆっくりとしたペースで親切な説明を受けながら野鳥観察を楽しむことができ、多くの収穫を得た一日となりました。</li> </ul> <p>3) 今回観察できた鳥 38種 (水辺でよくみられる鳥 19種、地上・樹林でよくみられる鳥 19種) アオサギ、オオバン、オカヨシガモ、オナガガモ、カイツブリ、カルガモ、カワウ、カワセミ、キンクロハジロ、ゴイサギ、コガモ、ダイサギ、ハシビロガモ、バン、ヒドリガモ、ホシハジロ、マガモ、ミコアイサ、ヨシガモ アオジ、ウグイス、エナガ、カワラヒワ、キジバト、コゲラ、シジュウカラ、シロハラ、ジョウビタキ、スズメ、ツグミ、ハクセキレイ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ルリビタキ</p> <p>◎ 今年も元気に 出発です!!</p> 



ミコアイサ (♀ ♂)



キンクロハジロ



ハシビロガモ



オナガガモ



オオバン



バン



アオサギ



ダイサギ



ゴイサギ



カワセミ



シジュウカラ



モズ